



SAIJO

ライオンズクラブ国際協会 336-A地区2R4Z 西条ライオンズクラブ 広報誌

2023-2024

No. 8 月号
554



リフレッシュ瀬戸内～高須海岸清掃

ライオンズクラブは社会に奉仕する世界最大の団体です

国際会長テーマ
メッセージ

336-A地区スローガン

ガバナースローガン

キーワード

会長スローガン

キーワード

「 WE SERVE 」

「 Changing The World 」

「 地球を守る、人を護る 」

「 市民のための社会奉仕 」

「 全員参加の社会奉仕 」

「 やるときゃ、やろうぜ! WE SERVE 」

「 初志貫徹 」



~~~~~ 新会員入会 ~~~~~

氏名 まつもととしひで  
松本敏秀  
生年月日 昭和43年5月31日 55歳  
スポンサー 日野克則会長  
勤務先 四国電力(株)火力本部西条発電所  
所属 MC・広報委員会



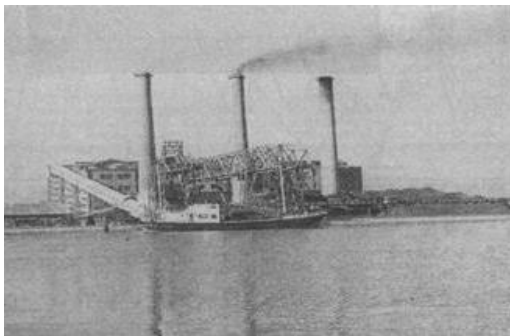
入会式 ~7月第1例会~

この度、西条ライオンズクラブに入会させていただきました四国電力(株)西条発電所の松本敏秀と申します。

6月28日付で、四国電力(株)西条発電所長として着任いたしました。どうぞ宜しくお願いいたします。西条発電所は、時代の変遷に伴い20~30年毎に設備を大きく変えながら、西条市の皆さまと共に歩んできております。四国電力(株)以前(日本発送電(株)時代)の1942年から石炭火力の旧西条発電所(1974年廃止)として運転を始め、1965~70年に油火力の新しい設備を追加し現在の2ユニット発電所構成になり、1983~84年に石炭火力への燃料転換、そして今回は第4世代目とでも言いましょうか、1号機を最新鋭の設備にリプレースして、今後も重要な発電所として電力需要を担って参ります。

私は1993年の入社直後から西条発電所に配属され、社会人としてのイロハを昼に夜にと、ここ西条で学ばせて頂き、まさに青春時代の約5年間を過ごした街です。それ以来26年のブランクを経ての西条赴任ですが、“西条に帰ってきた”という印象です。

この度、本クラブ員として地域社会への貢献活動等に参加させていただくとともに、またMC・広報委員会のメンバーとして本クラブの諸活動についてお伝えしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



旧西条発電所



現在の西条発電所



7/2(日)JAZZ LIVEにて子ども食堂支援の募金活動



7/2(日)高須海岸をボランティアの皆さんと一緒に海からうちあげられたゴミ等を拾いました

## 環境保全・保健福祉委員会

委員長 越智美和

この度、日野克則会長より環境保全・保健福祉委員会委員長を拝命致しました。初めての委員会、委員長で分からないことがたくさんありますが、委員会メンバーに助けていただき全ての事業が成功に終わられるよう尽力したいと思っております。献血、清掃奉仕、餅つき奉仕、中古メガネリサイクル事業と盛り沢山でございます。西条ライオンズクラブ全体で一緒に盛り上げて頂ければと思いますので、よろしくお願いいたします。

## YCE・国際関係委員会

委員長 寺尾信司

この度日野会長のご指名によりYCE委員長に就任することになりました。この3年の間もっとも打撃を受けたのはYCE事業でした。派遣、受け入れはすべて中止となるばかりか、海外渡航もままならないご時世でした。今年度からはなにが起こるかはわかりませんが、通常モードに復活できることを期待しております。その代りと言っては何ですが、近隣の外国からの人たちと餅つきをはじめ交流することが増えてきました。身近なYCE事業がまだまだ近くにもあるようです。委員会のメンバーをはじめ、会員の皆様1年間よろしくお願いいたします。

## MC・広報委員会

委員長 山本新一郎

今年度日野会長のもと「MC・広報委員会」の委員長を務めさせて頂く事となりました。委員会活動としては、主に毎月発刊の会報誌の編集作業となります。皆さんが楽しみにして頂ける会報誌を委員会メンバー全員で頑張っ、作成していきたいと思います。会員の皆様には原稿の依頼をお願いすると思いますが、その際には、快く御協力頂けます様よろしくお願いいたします。

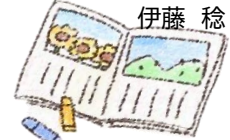


## 香川とグルメを満喫♪ 新感覚水族館うどん作り体験

出席計画・例会運営委員会事業  
7月第2(夏の家族会)例会報告

出席計画・例会運営委員

伊藤 稔



2023年7月16日(日)朝4時に起きて、一人うきうきしていました。クラブ事務局まで妹の悦子さんの車で駐車場までいきました。7月第2例会はクラブ事務局で行われ、例会資料も分厚く広辞苑辞書を思い出しました。

お留守番メンバー達に見送られ、いざ出発。道中、委員会企画「なぞなぞ大会」がスタート。回答率は、ご家族のお子さんの方が、頭の回転もよく65歳以上が、半分を占めるようになった西条ライオンズクラブ会員の反応も今一つで、あっという間に中野うどん学校につきました。



ガラガラ声の講師が登場し、軽快な音楽でうどんを練りこみ、踏み込む時にはダンスをしながら、腰をふりふりしながら会場中にタンバリンのリズムが鳴り響き、とても楽しい教室でした。誰が作ったうどんかわかりませんが、とにかく教室で作ったうどんが茹でられ、昼食になりました。ぶつぶつに切れたうどんや名古屋きしめん並みに伸びきったうどんと、厚さ2センチに上手に敷き詰められたちらし寿司、底を眺めながら食べました。

定食にしとけばと後悔先に立たず……。しかし、のどごしはつるりとしていました、さすが香川のうどんです。中野うどん学校を後に、続いてはパンの有名店「パパベル」へ。



既に多くの方が入店までに並んでいました。強い日差しの中、きちんと並んで  
やっと入店。

たくさんの種類の美味しそうなパンに、ついついトレーに取ってしまいます。  
有名パンでどっさり買い占め、人のパンをかじる人、楽しく子供のような会話を楽しんでいました。  
暑い暑いと言いながらようやく四国水族館へ到着。

こちらにもまたものすごい人、人、人…。子どもさんは目を輝かせながら館内へ。  
大きな子どもさん達は、猛暑の中冷房の効いたレストランから一歩も出ず、アシカもイルカもトドもい  
るメンバーの顔をひたすら眺めながら冷たい飲み物を飲み続けました。

誰かが、「早く帰ろう。」と言い出し、金毘羅散策は断念、予約していた「一鶴」の親鳥、ひな鳥を大量に  
買い占め、バスのタイヤは傾き、車体は下がり、おなかも満腹で帰路につきました。

日野会長の軽快な喋りで、無事帰ることができ安堵しました。

到着後、焼き肉泰山で打ち上げをしたメンバーもいて、「どれだけ食べるん？」というダイナミックなメ  
ンバーもいたり、とにかく暑く暑い1日でした。

なぞなぞ担当であった私は、ビアをがぶがぶ飲みすぎて、ろれつが回らなくなる一歩手前でした。  
日帰りということもあり、軽快なひと夏の思い出となりました。

まさに「大人の遠足」気分を3年ぶりに味わうことができ大満足です。  
今期初の委員会事業でしたが小野委員長はじめ、委員会の皆様、執行部、事務局、参加された全ての  
皆様、お疲れ様でした。また、来年、どこかに行きましょう。

# 「天正の陣巡り」



萬條教室同好会は、西條の遺跡巡り第1回目を令和3年

5月「陣屋と城下町巡り」を開催し、第2回目が令和4年5月「禎瑞新田と氷見」を開催しました。

そして、第3回目、令和5年5月14日(日)午前9時半から郷土史研究家萬條克己先生の案内で、「天正の陣」、天正13年(1585年)羽柴秀吉(豊臣秀吉)の全国統一事業が順調に進む中で、四国平定に動き出した時代に遡り、徳常寺・五輪塔・禎祥寺・石鎚神社・千人塚(野々市原古戦場)で現地学習しました。

天正十三年(1585)、前年からこの春にかけて四国統一を成就した土佐の長宗我部元親は、実子の人質として大阪へ送り、伊予と土佐の二国の領有を秀吉に認められたが、一方小早川隆景(こばやかわたかかけ|毛利元就3男)が伊予を所望したため、秀吉はこれを認めて長宗我部との約束を破棄して人質を土佐に返してきた。

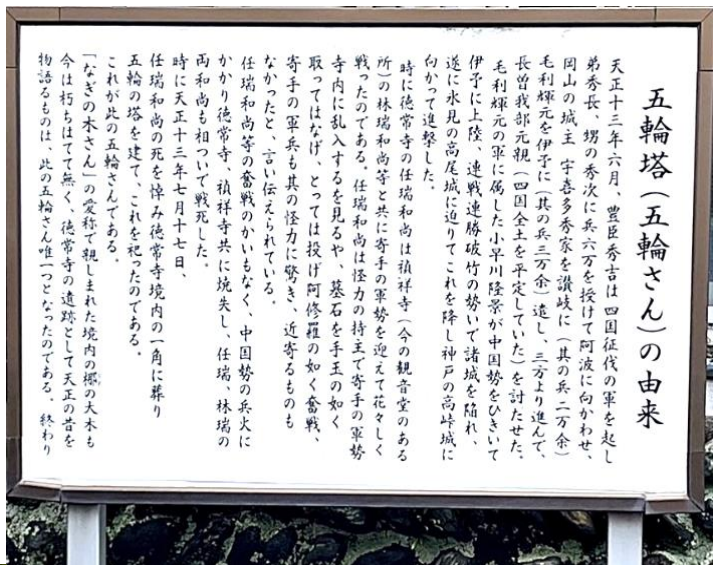
元親はこれに激怒し、秀吉の意に従わなかったため、秀吉は弟の秀長を総大将として紀伊、淡路、伊予三方面から約10万以上の征討軍を送り込むことになり、毛利氏に対しても伊予国出兵を要請した。

新居・宇摩の諸城主が集まり、中国勢・毛利の大軍が来攻することについて討論した。「高峠評定」「澄水記」「天正陣実記」「天正の陣実録」には、大略次のように記されている。

一座の大半が降参すべしとの意見でほぼ一致していたが、最後に金子備後守元宅(かねこ もといえ)が次のような意見を述べた。

『小身の武士ほど浅ましきはなし。昨日は長宗我部に手を下げ、今日は小早川に腰を折り、土佐の人質を振り捨てて他人に後ろ指をされんこと心苦しき限りなり。所詮眉をひそめて世を渡らんより、討死して名を後世に顕さんには如かじ。』と。この意見に一座は息を飲み、反対する者も口をつぐんだと言う。このため、四国の大半がギブアップする中で、当地方は僅か3千人足らずの兵力で3万5千人余の大軍勢に立ち向かい、玉砕を覚悟で敢然と決戦する道を選んだ。

今回まず最初に訪れた徳常寺の任瑞和尚は、禎祥寺の林瑞和尚等と共に寄せ手の軍勢を迎えて花々しく戦ったが奮戦のかいもなく、中国勢の兵火にかかり、徳常寺、禎祥寺共に消失して、任瑞・林瑞和尚も相次いで戦死した。時に、天正13年7月17日であった。その後、野々市にある千人塚(首塚)を訪れた。小早川隆景は、主力をもって高尾城を包囲、別動隊をもって、元宅の弟対馬守元春の守る金子城以下の諸城を攻め落とし、七月十二日、高尾城攻防戦の火蓋が切られた。連日にわたる激戦の末、十四日には支城の丸山が落ち、勢いを得た毛利軍は本丸をめざして鉄砲をつるべ撃ちし、このため城兵の多くが失われた。



天正十三年六月、豊臣秀吉は四国征伐の軍を起し、弟秀長、甥の秀次に兵六万を授けて阿波に向かわせ、岡山の城王、宇喜多秀家を讃岐に(其の兵二万余)毛利輝元を伊予に(其の兵三万余)遣し、三方より進んで、長曾我部元親(四国全土を平定していた)を討たせ、毛利輝元の軍に属した小早川隆景が中国勢をひきいて伊予に上陸、連戦連勝破竹の勢いで諸城を陥れ、遂に氷見の高尾城に近寄り、これを降し神戸の高尾城に向かつて進撃した。

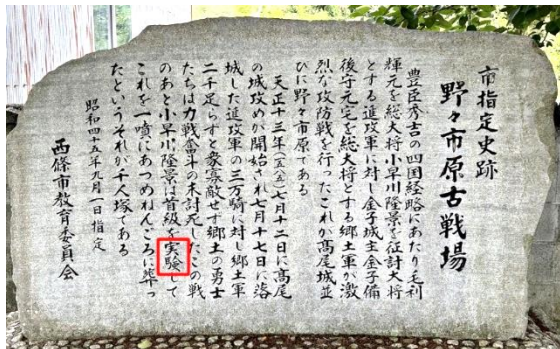
時に徳常寺の任瑞和尚は禎祥寺(今の観音堂のある所)の林瑞和尚と共に寄せ手の軍勢を迎えて花々しく戦ったのである。任瑞和尚は怪力の持主で寄せ手の軍勢寺内に乱入するを見るや、墓石を玉玉の如く取ってはなげ、とつては投げ阿修羅の如く奮戦、寄せ手の軍兵も其の怪力に驚き、近寄るものもなかつたと、言い伝えられている。

任瑞和尚等の奮戦のかいもなく、中国勢の兵火にかかり徳常寺、禎祥寺共に消失し、任瑞、林瑞の西和尚も相次いで戦死した。

時に天正十三年七月十七日、任瑞和尚の死を悼み徳常寺境内の一角に葬り五輪の塔を建て、これを祀ったのである。

これが此の五輪さんである。

「なまの木さん」の愛称で親しまれた境内の櫻の木も今は朽ち果てて無く、徳常寺の遺跡として天正の昔を物語るものは、此の五輪さん唯一つとなつたのである。終わり



市指定史跡  
野々市原古戦場

豊臣秀吉の四国征伐にあたり毛利輝元を総大将小早川隆景を征討大将とする進攻軍に對し金子城主金子備後守元宅を総大将とする郷土軍が激烈な攻防戦を行った。これが高尾城並ひに野々市原である。

天正十三年(1585)七月十二日に高尾城の城攻めが開始され七月十七日に落城した進攻軍の三方衝に對し郷土軍二千足らずと豪傑敵士郷土の勇士たちは力戦奮闘の末討死し、この戦いのおと小早川隆景は首級を獲り、これを一噴にあつた人々を驚かせたというそれが千人塚である。

昭和四十五年九月一日指定  
西條市教育委員会

それでも元宅は頑強に抵抗したが、衆寡敵せず、自ら城に火を放ち残存将兵とともに麓の野々市原に討つて出て、元宅以下将兵660余りが夏草を朱に染めて壮烈な最期をとげた。高尾城落城後攻撃軍の総大将小早川隆景は、野々市ヶ原において首実検を行い、香花の枝をとって唱えた偈の一句、「討つも夢、討たるもまた夢なり、早くも覚めたり汝等が夢」を手向け、数百の屍を集めて葬ったと言う。

「千人塚(首塚)」時に天正十三年(1585)七月一八日であった。



## 西条ライオンズクラブ 会員募集中!

### ◎ライオンズクラブとは

世界最大の社会奉仕団体のことです。  
世界で約 200 以上の国または領域にあり  
49,000 を超えるクラブが存在し、130 万人以上の  
会員がいます。あなたも世界の一員になりませ  
んか。

### ◎西条ライオンズクラブは

国内で 334 番目、愛媛県下では 9 番目のクラブ  
として結成されました。「We Serve～我々は奉  
仕する～」を合言葉におなじ志をもつ仲間同士が  
集まって奉仕活動を行っています。

人の為に、社会の為に、一人ではできないことを、  
出会いを通して集まった会員が力を合わせて、そ  
れぞれの地域において社会奉仕に貢献していこう  
という団体です。

### 令和5年7月秋田県豪雨災害への救援物資を 2023年7月27日に送りました



土嚢 200袋 熱ピタシート  
パール缶 ウェス  
タオル(新品/中古)

## [シリーズ 会員短信]

## ～私の旅～



日野 求

毎年冬季に行われるせとうち観光社による“グ  
リーンツアー”に 5 年前まで毎年参加していま  
した。家族、店の常連さん、イトービルサービ  
ス御一行様など参加していただき賑やかなバスツ  
アーでした。

1 番最近 5 年前の九州旅行をご紹介します。  
2018 年 2 月九州北部、大分、佐賀、福岡 3 県  
をまたぐ旅行に出かけました。それより半年前、  
大雨による河川の氾濫(九州北部豪雨)により、  
福岡県の朝倉市、大分県の日田市などで大きな  
被害が出ました。まさにその地域の復興のため  
のツアーでした。当然被災地には観光するもの  
がなく、1 軒ポツンと建てた土産屋で復興に貢  
献(?)しました。それ以外の観光で印象に残  
った場所は、東洋一ともうたわれた大刀洗旧陸軍  
飛行場跡地にある、大刀洗平和記念館。旧飛行  
場は、米国爆撃機 B-29 による大規模爆撃に遭  
い壊滅的被害を受けて戦後は閉鎖されました。  
旧飛行場の歩みや、航空技術発展の歴史などが  
展示されています。展示物の目玉は、震電のレ  
プリカや九七式戦闘機、生産機数が非常に少な  
い零戦 32 型です。

5 年前の旅行なので写真を見ただけでは記憶  
があやふやなのでネット検索しながら記事にさ  
せていただきました。コロナ自粛などで行けな  
くなったバスツアー、来季は行きたいな(\*^^\*)

## 編集後記



8 月号から新 MC 広報委員会による会報誌の発行が始まりました。

委員会の新メンバーの皆様と力を合わせ、楽しい情報を発信して行けます様、努めたく思います。

梅雨明けした後は、毎日とんでもない暑さが続いております。

皆様、お身体にお気をつけてお過ごし下さい。1 年間、よろしくお願い致します。

MC・広報委員長 山本新一郎

発行者 会長  
幹事  
[MC・広報委員会]  
委員長/副委員長  
編集委員

例会日  
例会場  
発行  
印刷

日野克則  
植木光夫  
山本新一郎/曾我部克正  
村上公明・日野 求  
松本敏秀  
毎月 第 1・第 3 火曜日 (12:30~13:30)  
西条商工会館  
西条ライオンズクラブ事務局  
プリントワールド ONO

## 西条ライオンズクラブ

〒793-0027 愛媛県西条市朔日市 779-8  
西条商工会館 1F  
TEL(0897)56-3980  
FAX(0897)56-9251  
E-mail saijo-ic@abeam.ocn.ne.jp  
ホームページ http://saijo-lions.jp  
facebook http://facebook.com/saijo.lions/